

町の人口 (11月末)

・総人口	15,986人
男	7,670人
女	8,316人
・世帯数	3,965世帯
・転入40人・転出20人	
・出生12人・死亡8人	

町の花・ツツジ



(南小学校)

ぼくらは ワンパク仲間!!

1日で一番楽しい放課後のひととき。いつものワンパク仲間が集合し、元気いっぱい遊び回る。…どの顔も“いきいき”として、澄みきった青空みたいだ。……もうすぐ冬休み。厳しい寒さがどんどんやってくる。でも、ワンパクたちにとって、寒さなんかへっちゃらだ。

町民表彰式 ◎◎◎晴れの受賞は◎◎◎

前町長 福田寛吾さんら20人



六十二年の町民表彰式が十一月二十三日(勤労感謝の日)に町公民館で開催されました。

永年にわたり、本町の自治・福祉・文化などの発展に大きく貢献された方々に贈られるもので、今年は、前町長の福田寛吾さんら二十人が受賞。また、各種功労で全国表彰を受けた個人十、事業所四、団体一の披露も行われました。

受賞された方々は次のとおりです。

(敬称略)

- | | | |
|--------------------|------------|--------------|
| (岡澤武男(代)) | (末岡正一) | (澤村近一) |
| (田澤大助) | (福井友市) | (岳本正則) |
| (立井清人) | (藤野隆) | (福重菊馬) |
| (南岩永木工所 岩永勉) | (渡邊仙市(代)) | (福田寛吾) |
| (昭和陶器株 橋本昭次) | (山川芳喜) | (東北振興局 金柿次長) |
| (白山陶器株 松尾勝美) | (前田靖) | (児玉町長) |
| (田崎登) | (中村貢) | (末岡議長) |
| (農業試験場 関秀哉) | (一瀬初子) | (古川シツエ) |
| (田中徳一) | (高塚和美) | (太田小美恵) |
| (井石郷国民年金納付組合 今里健吾) | (故稻村勝行(代)) | (馬場百枝) |
| (井石ミヨ(代)) | (中村マス) | (東島廣次) |



▼地方自治功勞

福田寛吾(宿)

(波佐見町長として四期十六年)

岡澤武男(井石)

(固定資産評価委員十五年以上)

▼社会福祉功勞

一瀬初子(湯無田)

(民生委員十五年以上)

高塚和美(小樽)

(民生委員十五年以上)

▼産業振興功勞

田崎登(宿)

(農業委員十五年以上)

前田靖(乙長野)

(農業委員十五年以上)

東島廣次(中尾)

(陶磁器製造・同一職場勤続二十年以上)

藤野隆(金屋)

(元農業委員・元土地改良区理事)

▼篤行

中村マス(稗木場)

(家族看護三十年)

▼文化振興功勞

山川芳喜(宿)

(郷土史の研究・編さん)

▼保健衛生功勞

古川シツエ(宿)

(元助産婦・四十五年間)

▼保健体育功勞

岳本正則(皿山)
 (老人スポーツ振興)
 ▼地域振興功勞
 今田九州男(湯無田)
 (元町議ほか要職歴任)
 澤村近一
 (元町議ほか要職歴任)
 田中徳一(金屋)
 (元郷総代ほか要職歴任)
 末岡正一(川内)
 (元郷総代ほか要職歴任)

全国各種
 表彰披露

▼国民健康保険中央会表彰
 (国保事業功勞)
 福田寛吾(宿郷)

▼内閣総理大臣賞(西日本陶
 芸美術展)
 立井清人(稗木場郷)

▼自治大臣表彰(窯業の技術
 開発振興)
 長崎県窯業試験場

▼正六位勲五等瑞宝章(教育
 功勞) 故稲村勝行(湯無田)
 ▼勲五等双光旭日章(教育功
 勞) 奥川光義(皿山郷)

▼労働大臣表彰
 白山陶器株式会社(湯無田郷)
 (心身障害者雇用功勞)
 昭和陶器株式会社(湯無田郷)
 (毎月勤勞統計功勞)

県民表彰

勤勞功勞に
 山元正雄さん

▼黄綬褒章(産業振興功勞)
 田澤大助(井石郷)

十一月二十三日、県民表彰
 式が県庁で行われ、小樽郷の
 山元正雄さんが、勤勞功勞者
 として表彰され、高田知事か
 ら表彰状と記念品が手渡され
 ました。

感謝状

福重菊馬(井石)
 (前町社会福祉協議会理事)

▼伝統的工芸品産業振興協会
 長表彰(伝統的工芸品産業功
 勞) 武村忠利(湯無田郷)
 ▼厚生大臣表彰(社会福祉功
 勞) 中村 貴(永尾郷)

▼通商産業大臣表彰(統計功
 勞) 一瀬初子(湯無田郷)

寿詞

井石ミヨ (宿郷)
 太田小美恵(甲長野)
 渡辺仙市(折敷瀬)
 (満九十五歳)

▼社会保険庁長官表彰(国民
 年金事業功勞)
 井石郷国民年金納付組合

▼全国統計協会連合会長表彰
 (統計功勞)
 福井友市(湯無田郷)
 有限岩永木工所(宿郷)



鬼木老ク
 優秀賞に輝く

62年度県花壇コンクールの最終審査会が、11月10日長崎市で行われ、最優秀賞の島原市立三会中学校に続き、本町鬼木老人クラブ(鬼木グラウンド)が2年連続優秀賞(県緑化推進委員長賞)に選ばれました。このほか本町からは、昨年最優秀に輝いた町緑の少年団をはじめ長野老ク、折敷瀬西老クがそれぞれ努力賞を受賞しました。

53年度から始まった同コンクール。今年度は25花壇が応募し、このうち最優秀1点、優秀2点、努力7点合計10点の入賞花壇が決まったものです。

同コンクールでの本町花壇は毎年顔なじみ。特に鬼木老クは、これまで最優秀2回、優秀2回、努力1回と輝やかな成績を残しているところです。

来年度は、是非本町花壇から最優秀の座を獲得してほしいものです。



鬼木老人クラブの花壇

東小学校
 最優秀賞に輝く

— 全国花いっぱいコンクール
 県審査会 —

第二十回全国花いっぱいコンクールの県審査会がこのほど行われ、小学の部で町立東小学校(松田寿太校長・児童四四六人)が見事最優秀賞に選ばれました。永年にわたる緑化花いっぱい運動の実績が認められたもので、地域の部で最優秀を獲得した佐世保市花高老人クラブ鳳寿会とともに県代表として中央審査会に推薦されました。

同校では、毎年校舎南側の花壇を中心に、夏から秋にかけてサルビア、マリーゴールド、アメリカフヨウ、ハイビスカス。鉢植えのペゴニア、五、六年生による菊づくり、一人一鉢運動を展開。冬場にはキンセンカ、デージー、パンジーなどを植え替え、年中花が絶えないようにと余念がありません。

田中和男教諭の指導で、日常は園芸委員会を中心に水まき除草などを行っています。これを機会に、さらに同校の花いっぱい運動の輪が広がるよう期待したいと思います。

全国明社歌詩
最優秀賞

佐藤光子さん の作品披露

——波佐見明社五周年記念大会——

明るい社会づくり運動波佐見推進協議会五周年記念大会が、十一月二十一日農村環境改善センターで開催されました。

五十八年に発足以来今日まで、明社広報の発行をはじめオアシス運動の展開、講演会

の開催、各種奉仕活動と盛んに取り組まれています。

会場には、各種団体の代表者をはじめ、婦人会、老人クラブ員など約二百人が参加。

開会後の表彰式では、このほど全国明社運動歌詩募集で見事最優秀賞に輝いた、宿



——明るい社会づくり 5周年記念大会——

郷・佐藤光子さんの受賞作品披露が行われ、会場からは盛んな祝福の拍手が送られていました。

このほか、全国明社協事務局長・小林克太郎氏の「明るい社会づくりのめざすもの」と題した講演会や波高ブラス部による演奏も行われ、記念

大会に一層花を添えました。

また、波佐見明社では五周年を記念して、しつけの大原則を染めぬいた「のれん」を作製。全家庭に配布し、「明るい社会づくりはまずわが家から」を強く呼びかけています。なお、佐藤光子さんの作品を次のとおり紹介します。

全国最優秀賞入選歌

愛のうた

佐藤 光子

一、よんでみよう 鳥たちがしっている

おおきな 海の風を

かぎりなき 過去から

かぎりなき 未来へ

Come together

Come together

輪になって

二、おもいだそう 野の花が知っている

かすかな 夢のかおり

ほほえみの ちからと

ほほえみの 勇気と

Come together

Come together

輪になって

三、うたいましょう 母たちがしっている

おおきな 愛のうたを

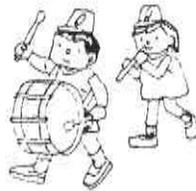
ひとりには なれない

ひとりには させない

Come together

Come together

輪になって



おめでとう佐藤さん



佐藤さんの作品を波佐見高・木村裕子先生が熱唱



波高ブラス部による演奏

最優秀賞に

中村史子さん(佐世保市)

第三十回波佐見焼陶器まつり

ポスター募集

第三十回波佐見焼陶器まつりポスター募集(主催波佐見焼陶器まつり協賛会)の審査会が、十二月三日町商工会で開かれ、中村史子さん(佐世保市)の作品が見事最優秀賞に選ばれました。

このポスター募集は、来年度の陶器まつりがちょうど三十年を迎えることから、県内外へ広くポスターを募集し、まつりを一層盛り上げていこうと初めて実施されたもので

す。

作品は、県内外の小学生から一般まで五十二人・七十九点が出品され、遠くは埼玉県からの応募者も見られました。審査にあたったのは、町商工会、町、窯業関係、さらに絵画関係の有識者らを含めて七人。

力作ぞろい、しかもバラエティーに富んだ作品に、選考する審査員も終始厳しい表情で一点一点入念にチェックしていました。

表彰式は、陶器まつりの初日にあたる来年四月一日の予定。最優秀作品は、今後県内外の交通機関や公共施設、観光地などで掲示され、まつりのPRに役買うこととなります。

なお、参加作品の展示がまつり期間中に実施される予定です。



陶器まつりポスターの最優秀賞になった中村史子さんの作品

〈入賞者は次のとおり〉

- ▼最優秀賞―中村史子(佐世保市)
- ▼優秀賞―林徹雄(長崎市)
- ▼佳作―高増豊(佐世保市)、同―田原嗣晴(諫早市)、同―植田盛保(宿郷)、同―富田寿正(長崎市)、同―澤田敏明(有田工高・田頭郷)

東小の児童三人が

優秀賞

第十三回「私のアイデア貯金箱コンクール」九州郵政局(主催)の県北地域審査会がこのほど開かれ、町立東小の六年浦明子さん、三年宮崎祐子さん、二年山口りつ子さんの三人が、応募総数七千点の中から見事優秀賞(東波佐見郵政局長賞)に選ばれました。



優秀賞に輝いた三人



豆腐の原産地は中国で、初めて作られたのは二千年も昔のことだといえます。

日本に入ってきたのは奈良時代。仏教とともに、僧侶によって、その製法が伝えられました。当時は、知識人である僧侶や貴族などいわゆる上流階級の食べ物だったようです。やがて江戸時代になると、作り方が広く一般に知られるようになり、日本人の生活に欠かせない食品の一つになりました。

このように豆腐は、千年以上もの長い歴史をもつ、日本古来の「伝統食品」の一つです。

ところで、一年間にわたしたちはどのくらいの豆腐を食べるのでしょうか。あくまでも推計ですが、油揚げ、がんもどきなども含めた一連の豆腐製品を、あの白い長方体(約四百グラム)に換算すると、年間ざっと五十億丁。

さて、この五十億丁のうち九割以上は、実は「アメリカ産」です。豆腐だけではありません。日本食には欠かせないみそ・しょう油そして納豆にいたるまで、その多くをアメリカを始め中国、ブラジル、カナダに頼っています。原料の大豆を、これらの国から輸入しているのです。

昭和六十年の大豆の国内消費量は五百二万吨。

このうち国産は約二十三万トンで、全体の五%。ちなみに、輸入大豆のほぼ九割はアメリカから買っています。日本ならではのたん白食品・伝統的な味覚も、いまではすっかり外国のお世話になってきているのです。

ふだん、何気なく食べている豆腐も、元をたどれば海の方こうに行き着きます。わたしたちの暮らしは、世界的な相互依存関係の上に盛り立っています。文字どおり、「地球家族」の一員なのです。

「アメリカ産」の豆腐



「アメリカ産」の豆腐



▲会場いっぱい波佐見節



▲出場者全員集合
新企画「波佐見節伝承大会」



▲結構なお手前で……茶道コーナーも引っぱりなしのお客さん



▲謡曲の参加者も年々増えます

第21回
波佐見町民文化祭
11/1, 2, 3



▲可愛い舞踊も
お目見え



▲地道な成果を披露～洋裁展



▶民具コーナー「ふるさと館」



▶力作ぞろい写真展

■文化祭での受賞者

〈写真の部〉

▼金賞 三連水車

田川 輝男(折)

▼銀賞 二剣の舞

植田 初己(折)

▼銅賞 パンジー

松尾 隆(小)

▼入選 兄ちゃんよろしく

田中寿美子(折)

旅愁

沢田 義満(金)

高千穂峡

福永 幸紀(湯)

あーおいしい

増田 寿照(宿)

バラ

岩永 耕一(永)

西海橋

村田 正蔵(折)

ホージャク

北村 清喜(折)

安弘 公彦(折)

奥川 光義(皿)

田中 徹郎(金)

井村 勝久(湯)

新人賞

今村 朝(宿)

最優秀賞

荒木恵美子(湯)

優秀賞

豊田 緑(折)

山道三重子(折)

森 キリ子(湯)

橋口 幸子(湯)

山川 博子(小)

田中千登勢(折)

▼努力賞

田中千登勢(折)

祭りのお球



▲勇壮 野々川浮立

▼もちつき大会にも大勢の人だかり



▲中央小・南小の6年生の作品「かかし」も登場



◀大ハッスル
丸太切り大会

第6回 農業感謝祭



▲山脇満義さん(岳辺田)の愛馬「ボニ君」も登場、人気集中

▼大盛況、牛肉即売



▶調子上々
縄ない大会



▲ユニークな芸もお目見え

■農業感謝祭での受賞者

○感謝状

細野 五郎(前農業振興会長)
農業振興会長賞
平野生産組合

○麦作(多収量)
一位 谷村 春喜(村)
二位 藤 富男(村)
三位 森山 吉行(岳)

○大豆作
最優秀賞 榊木場地区農作推進協議会
優秀賞 折湯生産組合

○家庭菜園コンクール
最優秀賞 浦野喜代子(野)
優秀賞 長岡 松代(田)
村瀬 綾子(野)

努力賞 峰 ツタエ(田)
加工食品コンクール
最優秀賞 沢山マズエ(稗)
優秀賞 山口美由喜(岳)

一瀬シカノ(稗)
古川ユキエ(宿)

特別賞(町長賞) 藤尾子ズ子(川)

○綱引き大会
一位 志折郷 二位 協和郷

○ビール早飲み
一位 山田 寿己(協)
二位 藤川 柁(折)
三位 溝上 照美(宿)

○ラムネ早飲み
一位 松下 光子(甲)
二位 馬場 敏江(田)
三位 野口 澄子(小)

○丸太切り
一位 鬼木郷(52秒)
二位 井石郷(53秒)

○縄ない
一位 乙長野郷(8m 49cm)
二位 岳辺田郷(8m 22cm)

○カラオケ
一位 田中可(川)・山本頼子(平)
二位 浦山 裨吉(岳)
三位 前川 吉春(湯)

みんなのひるば

収穫に感謝（中央小まつり）▶

町立中央小学校では、11月7日（土）収穫祭「中央小まつり」を開催。蛇踊りやみこし行列で楽しんだあと、初めて穫れたモチ米で、先生や父兄と一緒にもちつき大会。ペタンペタンと慣れない手つきながらも笑顔いっぱい。ふれあいの輪を広げました。また、この日は、町内のお年寄りら約150人と昔遊びなどをして楽しみました。



◀ナベヅル本町へ初飛来

（田ノ頭郷・峯 巖さん撮影）

10月26日、田ノ頭郷の峯巖さんが、一羽のナベヅルを撮影するのに成功。

シベリアから鹿児島県出水に向かう途中、はぐれてしまったのか、しばらく田んぼでひと休みしたあと、南の空へと飛び立ちました。

来年3月、シベリアへ帰る途中立寄ってくれるでしょうか。

火器点検サービス▶

東消防署波佐見出張所員が
独居老人宅を訪問

ふれあい通して防火意識を——佐世保東消防署波佐見出張所は、11月19日町内の身体の不自由な独居老人宅を訪れ、火器点検サービスを実施しました。

今回は、9月（敬老の日）に巡回したうち特に改善を要す12世帯を訪れ、コンロ、ゴムホースなど不備な箇所を点検補修、非番の5人が2班に分かれ、それぞれ火の用心を呼びかけて回りました。



▲三ノ股で火災防ぎょ訓練

秋の全国火災予防運動週間中の11月26日、町消防団では火災防ぎょ訓練を実施。

この日は、午前7時から、三股郷の民家を出火場所に想定、6分団、3分団、2分団と佐世保東消防署波佐見出張所の合計180人が出動。地元住民らが見守る中、本番さながらの訓練を展開しました。訓練終了後、地元婦人会員らが、消火器の取扱い講習会に参加、実際に操作しながら、消火方法などを学び取っていました。

いざという時、あなたは消火操作できますか？

東波佐見郵便局では、年賀はがき発売と同時に、局前にユニークな看板を設置しています。武辺局長はじめ三人の局員の生み出した作品。やきもの町らしいものをと生み出したのが花びんに県花「椿」を差した形。ベニヤとペンキを使っての工夫作。ホットな感じを与えてくれます。次はどんなものが登場するか楽しみます。

▶ユニーク看板お目見え

（東波佐見郵便局）



新しい家族 No.5

夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学者

詫摩武俊

お小遣いをどう与えたらいいか、いくらくらいが適当かというところが小学校の保護者会でよく話題になります。一年生の子供に月額一万円与えている家庭があるという話を聞いたりと、うちではどうしたらよいかと迷います。

お小遣いを与えるべきことですが、自分の家だけの独自性を貫くことも実際には難しく、まわりの傾向に同調することになります。母親たちが気にして話題にするのはもっともです。

小遣いをどう与えるか

母親の多くはお小遣いをたくさん与えるのはよくないと

思います。無駄遣いの習慣がつく、何でもお金で解決しようとする、というのが主な理由です。子供を愛して

いずれもお金が必要で、その額は親が働いて得たもの

です。まずお金の意味を教える

子供のお小遣いについてはそれぞれの家庭で考える

でしよう。我々の生活はお金と深いかわりをもっています。品物を買うときだけなく、電車に乗るとき、治療を受けるとき、ものを習うとき、

許容的に接してください。妙なものを買ってくることもありません。安物を買ってくることもありません。しかしその

と子供には勉強になる

をみせるために多額のお金を与えることがあるということ

額を決めたら、その範囲内で子供が買ってくる品物には

数日して子供に後悔

した様子が見えたときに、軽く注意すればいいのです。お小遣いの使い方にあまり注文をつけると、自分の欲しい品物を手に入れるために盗みをすることもでてきます。

私のふるさと⑤

北九州市八幡西区



前尾麻由子さん (38歳) 金屋郷

私のふるさは北九州市八幡西区です。一ご存知、製鉄所のある町です。私の生まれ育ったところは町の中心部からちょっと離れた、ボタ山のある地域。小さい頃よくボタ山に登ったりして遊び回ったものです。

思い出といえば、近所にある「吉祥寺の藤まつり」。子どもの手の届くぐらいの藤の花がずらっとたれ下がっていて、それは見事なものです。毎年4月27日から29日開かれるこの祭り。1キロほど連なる出店。ヨーヨーやオモチャを買うのが一番の楽しみでもありました。毎年お盆に帰ることにしていますが、今は随分この地域も変わっているようです。

12年前、夫（俊昭さん）と北九州で知り合って、この波佐見へ嫁いできました。

当初は生活環境がまったく違って不安だらけ。でも、両親、近所の方々の温かい助言のお陰で、今はすっかり慣れました。この町に一生住むのだから頑張らなくてはと思っています。町への要望といえば、町内すみずみまで行きわたる水道施設の整備。それに道路をもっと整備拡幅してもらいたいと思います。歩道も狭いし、思いきった道路政策を希望したいですね。

思いやる心 大切に



無計画に使用して困るのも一つのいい経験です。目的もなく貯金をさせるのはよくありません。お金は気持ちよく楽しく使うものだということもぜひ家庭で教えてください。

ひろば

の方は役場
お知らせください。

アマチュア無線に

挑戦してみませんか

——電話級アマチュア無線技士養成講習会——

社団法人、日本アマチュア無線連盟では、電話級アマチュア無線技士の養成講習会を次により開催します。
あなたも挑戦してみたいかですか。

記

期間 昭和六十三年一月三十日から二月二十一日まで(但し、土曜・日曜のみ)
時間 土曜日・午後六時から八時十分まで。
日曜日・午前九時から午後四時三十分まで
場所 波佐見町勤労福祉会館
受講料 一九、〇〇〇円
(従事者免許申請代)

(を含む)

申込先

熊本市下通町一―八

一―五

社団法人、日本アマチュア無線連盟九州

地方事務局(〇九六一三二五―八〇〇

四)

問合せ先 佐世保市山紙町一

ノ四、勝田義視

JH6KQN

(三二―八二二四)

日まで

十二月二十九日から一月三日まで

年末の大掃除等のごみは出るだけ早めに、年始のごみは四日以降の予定日に出して、集積場所に置きっぱなしにならないようお願いいたします。

年末・年始のごみ・し尿業務

年末・年始のごみ収集及びし尿汲取りをしない期間は、次のとおりです。
〇燃えるごみ 十二月三十一日から一月三日まで
〇燃えないごみ 十二月二十九日から一月三日まで
〇し尿汲取り 十二月二十九日から一月三日まで

工業統計調査

にご協力を



この工業統計調査は、国の指定統計調査として、通商産業省が毎年実施しているものです。

◆調査の対象 陶磁器・食料品・繊維などの製造業を営む事業所

◆調査基準日 六十二年十二月三十一日現在

◆調査事項 経営組織・給与額・原材料使用額・製造品の出荷額などです。

調査員が各事業所に伺いますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

記念植樹に応募しよう!

鴻ノ巣「記念の森」

町では、昨年鴻ノ巣公園に「記念の森」を開設し、52名の方々にそれぞれ記念植樹をしていただきましたが、その第2弾として次により町民の方々から希望者を募り、記念植樹を行います。

結婚・入学・誕生など記念すべき内容は自由です。ふるってご応募ください。

ご希望の方は、申し込みと同時に植樹経費(樹木費・銘板作成費)1万円を納入してください。

▶申し込み期限~1月末まで
詳しくは、役場建設課におたずねください。

原爆被爆者二世の無料健康診断

原爆被爆者二世を対象に健康診断が行われます。希望される方は、十二月二十八日までに役場保健衛生課にお申し込みください。

対象者は次のとおりです。
〇両親またはそのどちらかが原爆被爆者であること。
〇昭和二十一年六月四日以降に出生した者であること。
〇実施時期 六十三年一月二十日から二月二十九日の間
なお、くわしくは役場保健衛生係(八五―二二―一番)へおたずねください。

成人予防

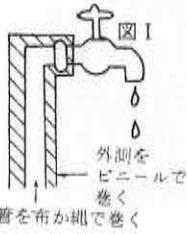
クイズ

(11ページ)

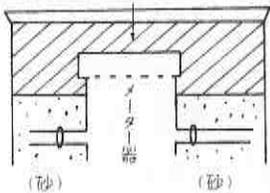
正解

- 問1 (1) 醤油
- 問2 (3) 三個
- 問3 (3) 三十種類
- 問4 (1) ショートケーキ
- 問5 (1) 五十から百キロカロリー
- 問6 (1) 人参、ほうれんそう
- 問7 (2) 植物性油脂
- 問8 (2) 千九百キロカロリー
- 問9 (1) ひじき・牛蒡
- 問10 (2) ガン

カン割れに“注意”



図II 布で結めて上にビニールを覆う



今年も寒波のしゅう来が予想されます。お宅の水道管の保温工事は済みですか。水道管がむきだしになつたり、北風にさらされる所は必ず保護しましょう。保護の方法としては図Iのように、またメーター器の場合は図IIのようにすきま風や雨水が入らないように

密閉してください。もしカン割れした場合は、別表のそれぞれの各地区の担当店へご連絡ください。
お願ひ
メーター器の上に物や車をのせたり、近くに犬をつなぐと検針ができません。検針に支障がないようご協力をお願いします。

水道管の保護を

お知らせ

掲載ご希望
企画係まで



歳末たすけあい運動
(12月1日~31日)

カン割れ修理担当工事店

地区名	(正)	TEL	(副)	TEL
中尾郷	㈱本岡商店	85-2007	㈱百武建設	85-2242
三股郷	㈱百武建設	85-2242	㈱本岡商店	85-2007
永尾郷	㈱百武建設	"	㈱本岡商店	"
小樽郷	㈱百武建設	"	㈱本岡商店	"
野々川郷	上山建設	85-3697	㈱波佐見電設	85-2329
湯無田郷	㈱百武建設	85-2242	㈱波佐見電設	"
井石郷	㈱本岡商店	85-2007	波佐見建材店	85-2135
鬼木郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱百武建設	85-2242
金屋郷	㈱小佐々建設	85-2506	㈱松田建材店	85-3312
折敷瀬郷	波佐見建材店	85-2135	㈱小佐々建設	85-2506
宿郷	㈱松田建材店	85-3312	㈱小佐々建設	"
村木郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱小佐々建設	"
皿山郷	㈱小佐々建設	85-2506	上山建設	85-3697
榊木場郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱小佐々建設	85-2506
田頭郷	㈱小佐々建設	85-2506	波佐見建材店	85-2135
川内郷	㈱小佐々建設	"	上山建設	85-3697
岳辺田郷	銀杏屋	85-2025	㈱堀池電器	85-3236
甲長野郷	中尾建設	85-5300	㈱堀池電器	"
乙長野郷	中尾建設	"	銀杏屋	85-2025
協和郷	㈱堀池電器	85-3236	銀杏屋	"
志折郷	㈱堀池電器	"	中尾建設	85-5300
平野郷	銀杏屋	85-2025	中尾建設	"

世保支店(☎二一九一五五番)へおたずねください。

○期間 一泊二日(毎週水曜 日入院、木曜日退院)



「国の進学ローン」

取扱い中

川棚国病

人間ドックを実施

来春、高校・大学などへ進学される方々のために、進学資金の融資をしています。

◆融資金額 一人五十万円まで

◆取扱い期間 六十三年四月末日まで

◆利率 年五・七パーセント

進学予定の子供をお持ちの皆さん、手続きは簡単です。

お気軽ににご相談ください。

詳しくは、国民金融公庫佐

世保支店(☎二一九一五五番)へおたずねください。

国立療養所川棚病院では、成人病早期発見のため「人間ドック」を実施することになりました。

血液検査、検尿、心電図、胸部・腹部レントゲン、眼底検査、腹部エコー、胃透視、直腸癌検診、乳癌検診、体力測定などが主な項目。検査後は担当医が総合的に判断し、栄養指導いたします。

○費用 一五万円

○期間 一泊二日(毎週水曜 日入院、木曜日退院)

○結果の説明 一ドック二日目に担当医が総合判定と内容を説明、今後の生活指導等を行うほか「人間ドック結果報告書」を差し上げます。

○電話での申し込みでも結構です。

詳しいことは、国立療養所川棚病院(☎八二一三二二番・内線二三〇(外来医事係)へおたずねください。

来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料
- 固定資産税

おわび

先月号の「お誕生おめでとう」のコーナーで、子の名「中尾恵里加」ちゃんは「中尾恵里香」ちゃんの誤りでした。訂正し深くおわび申し上げます。

善意の窓

○香典返しにかえて
湯無田郷 稲村 ユキ様
御主人故稲村勝行様
宿 郷 楠本 林 様
御夫人故楠本はぎ子様
以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会



防犯はみんなの力で
あき巣ねらいにご注意
お互い気をつけて
明るい年末、年始を
過ごしましょう!!

お誕生おめでとう

子の名	父の名	住所
田嶋 嘉人	嘉彦	永尾郷
福島 理花	賢次	湯無田郷
林田 輝昭	輝昭	"
立川 美穂	清人	"
古河 一郎	和芳	"
松下 朋也	千博	折敷瀬郷
内田 巧	修	田ノ頭郷
緑谷 賢太郎	照美	"
永田 千秋	正	乙長野郷
松本 沙織	安弘	"
松下 亜季	和徳	協和郷

ご結婚おめでとう

浦田 淳子	田嶋 清人	中尾 環	梅本 一男	青山 和枝	水谷 浩幸	中村 千恵子	古川 勝巳	野田 寿江美	中嶋 博幸	大久保 智恵子	川添 真悟	阪口 ひとみ	濱田 晴歳	谷口 悦子	中尾 善隆	早崎 太佳子	小楠 芳隆	中原 富美子	住吉 年弘	中島 しのぶ	原 周介	太田 みどり	岩木 邦秀	山口 絵理	深澤 英男	山口 美由喜	池本 幸則	川野 由美子	橋口 広光	松尾 きよ子	古賀 正憲	古川 典子	恵美 和義	
川棚 町	村木 郷	宿郷	佐世保市	佐世保市	宿郷	川棚 町	宿郷	東彼杵町	折敷瀬郷	鬼木郷	鬼木郷	井石郷	茨城県	井石郷	井石郷	湯無田郷	横浜市	湯無田郷	湯無田郷	湯無田郷	湯無田郷	福岡市	湯無田郷	神奈川県	大川市	湯無田郷	折敷瀬郷	野々川郷	永尾郷	愛知県	永尾郷	山内町	湯無田郷	三股郷

お礼

◇波佐見町奨学資金貸付基金へ次の方からご寄付いただきました。厚くお礼申しあげます。

○金屋郷 松岡和子様

◇町児童文化基金へ次の方々からご寄付いただきました。

厚くお礼申し上げます。

- 湯無田郷 藤田高資様
- 折敷瀬郷 渡辺 満様



初日の出

山口 勝行	中尾郷	47歳
森田 福一	湯無田郷	63歳
野口友四郎	井石郷	70歳
山田萬太郎	折敷瀬郷	89歳
梅澤 ツエ	村木郷	84歳
平川トミエ	皿山郷	68歳
草野 マス	稗木場郷	66歳
高尾 トヨ	田ノ頭郷	80歳

おみやみ申し上げます

永留 勝治	巖原町
朝田 恵美子	稗木場郷
森 和彦	田ノ頭郷
岩松 千春	川棚町
汐除 時也	多良見町
尾崎 敦子	乙長野郷
田中 高博	志折郷
大安 正子	東彼杵町

こちら編集室



▼昭和六十二年もあとわずか。この一年、みなさんにとっていかがでしたか。年十二回発行の「広報はさみ」——毎月編集に追われながらも無事お届けすることができたのは、情報提供いただいた方や、心よく取材に応じてくださった皆さんの方々のご協力があったればこそと心から感謝しています。

▼「広報はさみ」も来年二月で三〇〇号。これを機会にさらに紙面の充実を思っています。

寒さも一段と厳しくなってきました。健康に十分気を付けて、明るい新年を迎えください。